武蔵村山市立小中一貫校　村山学園

学園だより

令和７年度１１月号
統括校長　井　内　　潔
令和７年１１月４日

【教育目標】　人にやさしく　自分に強く　英知を磨く村山の子

子供たちの輝きに寄り添って

統括校長　井内　潔

秋も深まり、校庭の木々が色づき始めました。図工室前のみかんも黄色く色づいてきました。やってみかんパニーの活動もまもなく始まります。季節の移ろいを感じながら、子供たちは日々の学校生活に力を尽くしています。

１０月１７日（金）には、小学部による「オレンジ遠足」が行われました。１年生から６年生がグループで協力しながら、都立東大和南公園までの道のりを歩きました。街中を歩く中でも、秋の風景や仲間との会話を楽しみながら、上級生が下級生を思いやり、下級生が上級生を頼りながら、助け合って活動する姿が見られました。公園では、たくさん遊び、たくさん笑い、素敵な思い出をつくることができました。子どもたちの「優しさ」と「元気」が輝いた一日でした。

１０月２５日（土）には、６年生から９年生、S組、E組による「第１６回合唱コンクール」が行われました。各学年が練習を積み重ね、仲間と声を合わせる喜びを感じながら、本番では素晴らしいハーモニーを響かせてくれました。緊張の中にも「歌うことを楽しむ」気持ちが歌声に表れ、聴いている人の心にもその思いが伝わってきました。どのクラスも、S組・E組も、歌声や演奏を揃えるために努力を重ね、見事な発表をしてくれました。

私は例年審査員ですが、今年度は良い意味で審査員泣かせでした。つまり、どのクラスも評価の観点に基づく評価が高く、差がほとんど無かったということです。結果、９年生は１組も２組が両クラス共に金賞、ベスト指揮者もベスト伴奏者も１組、２組の担当でした。本当に素晴らしかったです。感動をたくさんしました。

合唱コンクール実行委員に支えられ、クラスの団結力や、一つのものを作り上げる喜びを感じることができ、「大成功」を導いたと言えます。自分で考え、判断する力が生かされていたと思います。今回の前向きな取り組みを、今後の学校生活に生かしてほしいです。

前回の全校朝礼では「読書の秋」について話しました。私自身、小学校の時から読書は大好きです。現在も、気が向くと本屋さんに行くことが多く、購入した本が積読（読まずに積んである本）状態になっています。子供たちに読んでいる本を紹介しながら、「一緒に読もうよ」という気持ちを込めて、読書の楽しさを伝えました。静かな時間に本と向き合うことで、新しい知識や考え方に触れ、心が豊かになります。秋は、静かな時間を過ごしながら本に親しむのに最適な季節です。ぜひ、自分のお気に入りの一冊を見つけてほしいです。

１０月１５日（水）には、武蔵村山市教育委員会の定例学校訪問があり、教育委員会の皆様に学校の様子、授業を見ていただきました。「子供たちが落ち着いて学習していること」「挨拶がよくできていること」「先生たちが工夫して授業をしている」ことなどを講評でおっしゃっていただきました。教職員一同、子供たちのために今後も取り組みます。

これからの季節は気温が下がり、体調管理にも注意が必要です。風邪やインフルエンザの予防には、部屋の換気、手洗い・うがいが効果的です。御家庭でも御留意いただき、元気に過ごしていただければと思います。